

医療法人 八誠会

もりそう教育だより

令和4年12月発行 (No.9)

発行/もりやま総合心療病院
看護部

TEL052-791-2133



電子カルテ導入から1年が経ちました

年を取ると時間が過ぎるのが早いと言いますが、今年ももう残り僅かですね。昨年のこの時期は、電子カルテの導入後でばたばたしておりましたが、気がつけばもう1年がたっておりました。1年たって使いこなせているかと言われると、まだまだだなあというのが正直なところですが、でも、電子カルテが入ったおかげで、情報の共有がしやすくなりました。以前は、病棟に行かないと見られなかったカルテが、遠くにいてもさっと目を通すことができる。感染発生時には、現場に行かなくても患者さんの情報がある程度確認できて、状況が把握できるなんて時代は変わったものだと感じました。カルテの文字が読みづらいことに長年悩んで、癖字の解読もスキルのうち？なんて日々を過ごしてきた世代にとっては、文字が読めることが感動でもありました。しかし、どこに何があるのかを覚えないと情報にたどり着けない、入力ミスや独自の書き方で無法地帯に…という新たな悩みも発生しておりますが、とにかく課題を一つずつクリアしていくことかなと思っております。

With コロナでの院外との交流

新型コロナの流行が始まってから、3年になりました。この冬の流行が第8波、ワクチン接種もう5回目です。最初の年は研修を中止して、コロナ対応に追われていましたが、徐々に感染対策に留意しながらの集合研修も行えるようになってきました。そもそもこのお便りを作り始めたのも、感染流行でインターンシップが行えない中で、少しでも当院のことを知ってもらいたいという思いからでした。今は、個別対応にはなりますが、病院見学会も実施するようになって、次年度はすてきな新人さんも来て下さる予定です。今年は、海外からも技能実習生の方が来ていただきました。新しい方が来て、新しい風を吹かせてくれることはとても大切なことです。ご家族の転勤などでこれから病院を変えることをお考えの皆様も、ぜひ当院を候補の一つにいただければ幸いです(笑)。

学会なども徐々にハイブリッド開催も増えてきました。今年度は、院外の研究発表を3つの場所で5題行いました。ひとつはzoomでのリアルタイムの発表、ひとつはパワーポイントで動画を作成しての発表、ひとつは現地に行って直接発表でした。zoomの発表はなんと院内の停電の日と重なって、唯一停電とならないデイケアの食堂に行ってWi-Fiでつないだのですが、途中で電波状況が悪くなって中断するアクシデントも発生し、発表者の方には申し訳なかったです。ほんとごめんなさい。Web開催は何度も動画を見て勉強できるなど、どのやり方も長所・短所はありますが、やはり現地でいんな方とリアルに交流するのが楽しいし、視野も広がるかなあと思ったりします。来年は、北海道で学会が開催されるそうです。また行けたらいいなあと思いつつ、仕事に励みます。

院内研修あれこれ

徐々に集合教育、じゃあどんなことをやっているのか聞きたいというあなたに、今年やった研修のあれこれをご紹介します。ケースレポートとか、看護研究コースとか、他にもいろいろあるのですが、それは昨年もご紹介しているので、昨年とは違う内容とかまだご紹介していないところにフォーカスしていきたいと思っています。

【ナースエイド演習】 10月

今年の看護研修委員会によるナースエイド演習は「正しいシーツ交換と感染対策」を2日間に分けて行いました。正しい手技を演習で学び、感染対策のポイントや転倒防止や危険物などの医療安全についても、臨床の場面に合わせた講義が行われました。演習参加者からは、「久しぶりの演習で楽しかった。」「他病棟の方と話す機会になった。」との声が多く聞かれました。コロナ渦で研修などが縮小傾向ではありますが、次年度も研修方法を工夫して行っていきたいと思っています。



【CVPPP 研修】 11月・12月

CVPPP というのは包括的暴力防止プログラムのことで、興奮した方と接する時にどちらにも安全に対処できるように知識や技術を身に着ける研修です。写真は手をつかまれて離してもらえないときに対応するかを練習しているところです。院外の研修でトレーナー資格を取得してきたチームが毎年工夫を凝らした研修を行っております。看護職員の8割くらいがこの研修を受けているので、移動の際などにも活用されているようです。必要に応じて病棟で勉強会を開催するなど、個別の対応も行っています。こうした研修で、皆さんが安全に安心して働ける職場環境になっていくことを祈っています。



【倫理カンファレンスとハラスメント防止研修】

今年度は、看護部の各部署で看護倫理カンファレンスをそれぞれ2回実施したところに、病院全体でも虐待防止研修とハラスメント防止研修を行おうという話が持ち上がり、医療安全委員会で虐待防止を3回、院内教育委員会で講師を招いてハラスメント防止研修を行うという運びになりました。今年の漢字は「倫」かもしれません。保育園での虐待や様々なハラスメント事案がニュースにあがる昨今、職場の風土や自分のあり方をみんなで見直す機会を持つことはとても重要と思います。研修に参加した多くの方が、みんなと話す機会が持ててよかった、これからも必要な研修とってくださいました。こういう積み重ねで、これってどうなんだろうと思ったときに口に出せる雰囲気、間違いを認めて変えていく風土をもっともって作っていきなあとと思います。

冬夏青青

冬夏青青は『とうかせいせい』と読む四文字熟語です。『固い信念を持ち、いつのときも変わらない状態』を意味します。人の性質を表現するときに使用されることが多く、『冬夏青青な人』や『冬夏青青な態度』などのように使われます。語源は中国古代の思想家『莊子』の書の中に書かれていた言葉とされています。芯の強い人柄や態度を四文字熟語で表したのが冬夏青青で、信念を曲げずに不断の努力をすることや、変わらぬ気持ちのまま突き進むことを表現するときに使います。強い気持ちを持って何かに取り組んでいる方は、この言葉を使って表現するととても素敵だと思います。

看護教育主任 小川さなえ（精神科医学会認定看護師）